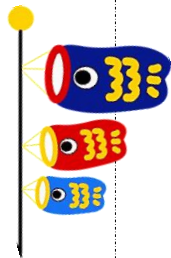


# かもう公民館 図書室だより

平成27年度 5月号  
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

## 5月 (皐月 さつき)

鯉のぼりは江戸時代の始まった風習で、神様に男の子の誕生を知らせ「この子を守ってください」とお願いするための目印として掲げられました。鯉は出世の象徴であり、「登竜門」という言葉は鯉が滝を登り切って竜になったという故事から生まれています。(参考資料「大切にしたい、につぼんの暮らし」)



### こどもの読書週間のお知らせ

4月23日～5月12日は、「こどもの読書週間」です。それにともない、蒲生公民館図書室では4月16日～5月14日まで、特設コーナーにて「子どもたちに人気のあるシリーズ絵本・児童書」をテーマに展示を行っています。



また、図書館と学校給食のコラボ企画「ものがたりレシピをいただきます！」に関する本、今年度の国語教科書に掲載されている本も展示中です。ぜひご覧ください♪



### 5月カレンダー

休室日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開室日 : 火～日曜日  
(月曜・祝日は休室)  
開室時間 : 9:00～17:00  
(12:00～13:00は休室)  
貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊  
貸出期間 : 15日間

### 新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ  
<http://lib-airajp/>

#### 「アイネクライネ ナハトムジーク」 伊坂幸太郎 著



サラリーマン、美容師、OL、高校生、ボクサー。ごく普通の人たちのごく普通の日常を切り取った、数々の伏線と驚きに満ちたエンターテインメント小説。

実母、義母、義父…3人の介護を経験した女性講師が教えてくれた、「無理しない」「面白い」ズボラ介護の極意とは。目からウロコの介護本。



「ふまじめ介護  
涙と笑いの修羅場講談」  
田辺鶴瑛 著

#### 「子どものグズグズが なくなる本」 田嶋英子 著



わが子の「グズグズの素」ってどんなもの？急かしたり叱ったりしなくても、子どもの「グズグズ」に効く方法を楽しい四コマまんがを交えて紹介する一冊。

#### 一般書

「ゼロからわかる墓じまい」 吉川美津子  
「この火山が危ない！」 鎌田浩毅 監修  
「酒のほそ道宗達流 日本酒入門」  
ラズウェル細木  
「ホットケーキミックスなら簡単！300レシピ」  
「フレンチ・シックなインテリアの家に暮らしたい」  
「ハピネス」 桐野夏生

#### 児童書

「おおかみだあ！」 せりっく・ラマディエ  
「吉田松陰と高杉晋作」 加来耕三 監修  
「西遊記」 呉承恩

### 2015年 本屋大賞が決定！



※貸出中の際は、予約をすることが出来ます。

大賞  
「鹿の王 上・下」  
上橋菜穂子

戦いの中、敵国に奴隷として囚われていた戦士・ヴァン。ある夜、岩塩鉢が犬たちに襲われ、謎の病が発生する。その隙に逃げ出したヴァンは、道中で幼い少女を拾うが…。生命の輝きを描く、壮大ファンタジー。

【本屋大賞】—「全国書店員が選んだいちばん！売りたい本」をキャッチコピーに、書店員が読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び、投票して決定される賞。



### 蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

\*「おそろし 三島屋変調百物語事始」  
宮部みゆき 著

神田三島町にある三島屋の姪、おちかが不思議な話を次々と聞き集めるお話です。短編で読みやすく、心がほっこり温かくなったり、背筋がスーッと寒くなったり。気が付けばあっという間に読んでしまいました。こわいけど、こわくない。ちょっと不思議でおもしろい本でした。(蒲生町・別府さん)



#### ☆三島屋変調百物語事始シリーズ☆

宮部みゆきによる時代ホラー小説シリーズ。2015年4月現在、「おそろし」、「あんじゅう」、「泣き童子」が刊行されている。2014年8月にはテレビドラマ化され、好評を博した。

